少年センターだより

令和２年５月２３日
発　　行
日野町少年センター
日野町河原一丁目１番地
TEL/FAX 0748-53-1325
http://www.rmc.ne.jp/h.g-s.c/

「コロナに負けないで！ピンチをチャンスに！」

日野町教育委員会
教育長　今宿　綾子

青葉若葉の芽吹く美しい季節になりました。

今年は新型コロナウィルスの感染拡大防止のため休校措置の延長を重ね、例年にない対応を迫られています。

かつてない休校は子どもへの感染を防ぎ、家族や社会への感染拡大を防ぐための対応でありますが、子どもの学力保障、子どもだけの自宅待機の不安や無理、長引く休校による生活の乱れ、心身の不調など、様々な課題への対応も不可欠となっています。この姿の見えない感染症とは長期戦の覚悟が必要です。

衛生管理の徹底、適切な栄養と適度な運動、三密を避ける行動など対策を講じた上で、小中学校では五月十八日より分散登校を始め、学校再開を目指しています。学校生活のリズムを取り戻すことから始め、無理のないように徐々に学習を進めていきます。感染の二波、三波も心配されますので、登校日と在宅日のバランスは今後の状況を見ながら判断していく予定です。

家庭での学習については、復習だけでなく今年度の内容をも自力で進めることが出来るよう、教材や進め方を工夫し、在宅学習としての充実を図っています。

その一つが情報機器の活用です。各学校ではこれまでタブレットを整備しＩＣＴ教育に取り組んできました。今回「日野っ子・オンラインみんなの学習広場」を立ち上げ、教職員による自作の動画、写真、メッセージなどの配信を始めました。今後も学校での対面学習とともに、在宅での自学自習にも役立てられるよう、一層の教員研修を進め、環境整備を目指したいと思います。

長引くステイホームの間も子ども達は頑張ってくれています。都市部では若者の繁華街への出入りなど規範意識の低下が問題となりました。先行きの見えない中、不安も大きいでしょうが、町の子ども達は学校からの指導を受け止め、きちんと行動してくれています。この頑張りに応えられるよう、この非常事態が効果的な在宅学習・家庭学習の仕組みづくりの機会とできますよう、職員一同研鑽していきたいと思っています。皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

二年間お世話になります

少年補導委員の皆様です。どうぞよろしくお願いします。

少年補導委員は、地域における少年の非行防止活動の中心的な役割を果たすため、東近江警察署長、日野町長から委嘱を受け、街頭補導や啓発活動を行っていただきます。

公民館	氏　名
日野地区	池内　美代子（上野田） 大宗　正和気（五月台） 河副　正美（松尾２区） ☆外池　多津彦（村井） ☆福本　喜美代（寺尻） ☆瀧井　恭子（大窪） ☆遠藤　鉄夫（河原）
東桜谷地区	小森　慶一（奥之池） 森田　貴美恵（原）
西桜谷地区	川原　繁（安部居） ☆大橋　典子（中在寺）
西大路地区	◎岡村　忠一（音羽） ☆平岡　喜志夫（仁本木）
鎌掛地区	○竹村　一男（鎌掛第２） 竹村　久子（鎌掛第５）
南比都佐地区	藤澤　義晃（下迫） ☆谷　たづ子（下駒月）
必佐地区	吉澤　茂樹（湖南サンライズ） 安田　均（内池東） 冨田　知津子（小谷） 冨田　忠夫（三十坪上） 山添　秀雄（山本） ☆久村　眞里子（豊田５区）

◎会長　　○副会長　　☆新委員

会長就任にあたって

日野町少年補導委員会　会長　　岡村　忠一

新緑の美しい季節となりました。皆様には平素より青少年の健全育成にご尽力、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染の収束が見えない中、地域の皆様には早く元の生活が取り戻せるようこの危機を乗り越えていただきたいと願います。

この度、私が令和２年、３年度の少年補導委員会会長を務めさせていただく事となりました。よろしくお願いいたします。

補導委員として十数年、様々な活動を経験させていただく中で、街頭補導に力を入れてまいりました。街頭補導をする中で、最近の子どもの様子が変わってきました。それぞれの個性、考え方を尊重して声掛けをして、非行防止、非行少年の早期発見、　早期補導に努めています。街頭補導での心構えとしては、少年に対する愛情と理解、補導委員としての高い良識、補導に関する技術の向上に努力しております。

今こそ、私達大人が気付いて青少年と共に活動を行える場づくり、青少年達が主になって活動する場づくりなど、できることから取り組んでいきたいと思います。

これからも地域の皆様のご支援をいただき、少年補導委員としての使命を果たしていきたいと思います。

つぶやき

12年前に少年補導委員の委嘱を受けました。

少年補導委員の仕事は地道な活動ですが保育園や幼稚園でのペープサートの啓発活動はとても大事だと思います。近年パトロールをしていても、どこで遊んでいるのか子ども達の姿は見うけられず、又、日一日と進化するスマホ、ライン、SNS、とても便利ですがこれからを担う子ども達を思うと少し不安になってきます。

４年前に研修で奈良少年刑務所を訪問させていただきました。刑務所の中に入ると中央の監視台からは、約400名の受刑者がすべて見える造りになっていて、冷房設備のない、まさに監獄。この時のショックは今でも思い出されます。このような経験をする子どもたちが出ないことを願うばかりです。

新型コロナウイルスが全世界で蔓延し外出自粛、日野祭もなくなり、来訪者を含め人の移動も自粛、みんなが今までに体験したことのない状況に立たされて不安な毎日を送っています。感染拡大防止に向けて自分達の意識と行動を再認識し外出は控えていきたいと思います。

12年間お世話になりありがとうございました。

前 少年補導委員　町田絹子

少年センターの活動

街頭補導活動

青少年の非行を未然に防ぎ、早期に発見、指導するため青色パトロール車による街頭補導や「愛の声かけ」を行っています。

●少年補導委員等による街頭補導
　　昨年度　５２回　延べ２１２人
●小学生の下校時パトロール
　　昨年度　４５回　延べ９０人
●中学校校門前での「朝のあいさつ運動」
　少年補導委員会・主任児童委員・保護司会・更生保護女性会で合同実施
　　昨年度　３０回　延べ１０８人

無職少年の支援活動

無職少年の自立に向けて、就労、就学について支援しています。

●就職相談・紹介（ハローワークとの連携）
●就労後の支援

関係機関との連携

家庭や学校・地域・関係機関団体との連携を図ります。

子どもの学習支援事業

基礎、基本的な学習内容が十分に定着していない中学生等に大学生のボランティアが将来の夢の実現のため、学習支援ＩＰＰＯ（一歩）を行っています。

相談活動

本人・保護者・関係者等から少年に関する悩みや心配事の相談を受け付けています。また、内容によって他の相談機関や専門機関も紹介します。

非行防止啓発活動

地域や家庭が青少年の問題に関心を持っていただくように、青少年の課題解決に向け啓発活動を行っています。また、子ども達にも啓発活動を行っています。

●「少年センターだより」
　　年４回発行
●氏郷まつりでの啓発活動
●ペープサートにより、幼児を対象に非行防止教室
　昨年度は８回開催

有害環境の浄化

青少年の健全育成のために、有害環境を浄化するための活動を行っています。

●有害図書等の販売店立入調査
●薬物乱用防止教室
　昨年度は
　　小学校５校（６年生）
　　日野中学校（２年生）
　　日野高校（全生徒）
　で開催。

サポートスクール（STEP）

不登校児童生徒の集団活動への適応や学習支援、生活習慣改善の相談・指導を行い、学校復帰を支援しています。

不正大麻・けし撲滅運動

～５月１日から６月３０日～

マリファナの原料となる大麻や、麻薬の原料となるけしに係る事件の発生は後を絶ちません。県内でも今年の3月に大津市の女子高生が大麻の不正所持で逮捕されました。また、過去には日野町でも大麻が不正に栽培されていた事件もありました。これらの事件の発生を防止するため、売買や不正栽培の発見に努め、自生する大麻・けしを撲滅しなければなりません。もし、不正栽培または自生している大麻・けしを発見した場合は最寄りの健康福祉事務所（保健所）又は警察署に連絡してください。

ひとりで悩まないでまずは相談を！

本人だけでなく、家族の方の相談も受けています。
お気軽にお越しください。秘密は厳守します。

○電話相談　○面接相談
○相談時間：月～金　９：００～１６：３０

日野町少年センター（日野町勤労福祉会館 2階）
電　話 0748-53-1325
E-mail hino.t-syonen.c@rmc.ne.jp

子育て小窓

『コロナストレス』 最近、よく聞く言葉です。コロナウイルスの影響によって、学校や園は休み。感染予防のため外出が制限され、人と関わるな！ 家に籠れ！ と自粛の要請。よく分からないニュースばかりが渦巻く中では、大人も子どもも不安に駆られ、心と体に様々な不調をきたしやすくなります。

子どもたちは特に影響を受けやすく、いつもと異なる反応や行動を起こすことが多くあります。しかし、それらは一般的な反応であることを知っておくことが大切です。生活リズムが崩れたり、頭痛・腹痛・睡眠リズムの乱れ・食欲がなくなったりなど、身体の不調をきたす子もいると思います。中には、不安が強くなって、泣く・しがみつく・イライラする・無気力になる・わがままになる・衝動的になるなど落ち着きをなくす子もいるでしょう。

大人も子どもも「ストレス」を感じるのは自然なことです。先ずはお互いに「ストレス溜まるよねぇ～」と口に出し合いましょう。感じているのを認めることが、ストレスとの付き合い方の第一歩です。認めることで、自分の不安やイライラが、子どもや家族に向かうのを防ぐことにも繋がります。

（日野町子育て・教育相談センター　　N.M）